ワンランク“上”の薬剤師を目指して

超簡単!! ポートフォリオ作成ガイド

監修
坂口 眞弓　押切 康子　小見川 香代子

「ポートフォリオ」とは

日常的に自分自身が関わった事例を記録・蓄積した記録集のことで、自らその記録を振り返り自己評価を行い、自ら学習できる有用な学習ツールでもあります。

プライマリ・ケア認定薬剤師※の認定更新にはポートフォリオの提出が必須です。

※公益社団法人 薬剤師認定制度認証機構により**「特定領域認定制度」**の認証を受けた、日本プライマリ・ケア連合学会の実施する認定薬剤師制度。

本書は、ポートフォリオの書き方のポイントやコツをわかりやすく解説したガイドブックです。

日常の業務で気になった、起こった事例について記載したポートフォリオの具体的事例 10 ケースを取り上げ、詳しく解説しています。
作成から評価者による評価、修正・再提出という一連の流れを模擬体験しながら、評価ポイントや改善・修正点をおさえて学習することができます。

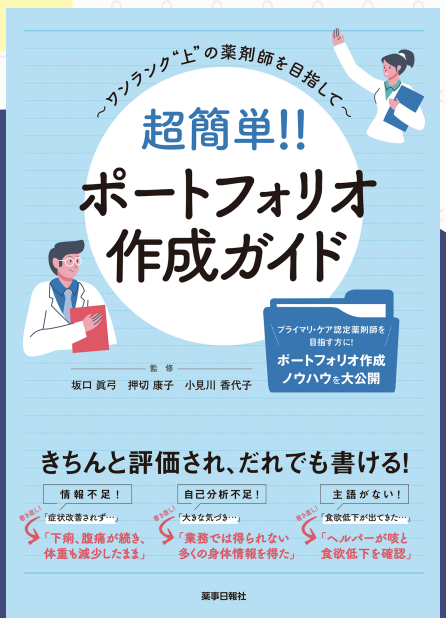
■ポートフォリオ作成の手法を習得すると

薬剤師業務を自ら客観的に評価し、その成果や課題に気づき、次の業務へと活かすことができるので、

- 患者の QOL 向上
- 自身のレベルアップ
- さらなる職能の発展

などにつながります。

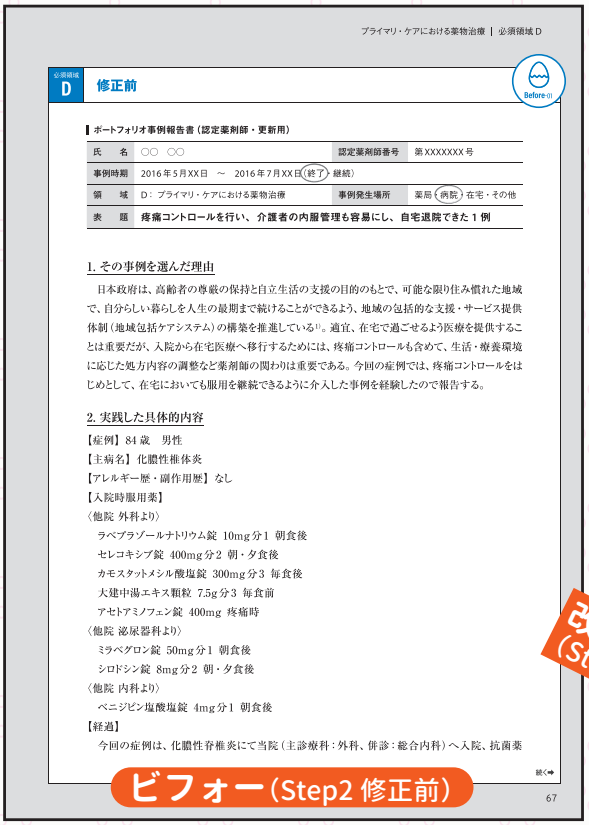
プライマリ・ケア認定薬剤師の認定更新を目指す方をはじめ、地域医療への貢献、質向上を目指す全ての薬剤師に役立つ一冊です。



B5 判 /177 頁 / 定価 2,750 円
（本体 2,500 円 + 税 10%）

株式会社 薬事日報社
本社：東京都千代田区神田和泉町1-10-2
支社：大阪府大阪市中央区道修町2-1-10
ホームページ：https://www.yakuji.co.jp/
TEL：03-3862-2141　FAX：03-3866-8408
TEL：06-6203-4191　FAX：06-6233-3681
オンラインショップ：https://yakuji-shop.jp/

内容見本　事例を基にポートフォリオ作成手順が一連の流れでわかります！


プライマリ・ケアにおける薬物治療 | 必須領域 D

必須領域 D　修正前　Before

ポートフォリオ事例報告書（認定薬剤師・更新用）

氏　名	○○　○○	認定薬剤師番号	第XXXXXXX号
事例時期	2016年5月XX日　～　2016年7月XX日（終了）継続）		
領　域	D：プライマリ・ケアにおける薬物治療	事例発生場所	薬局（病院）在宅・その他
表　題	疼痛コントロールを行い、介護者の内服管理も容易にし、自宅退院できた１例		

1. その事例を選んだ理由

日本政府は、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進している[1]。適宜、在宅で過ごせるよう医療を提供することは重要だが、入院から在宅医療へ移行するためには、疼痛コントロールも含めて、生活・療養環境に応じた処方内容の調整など薬剤師の関わりは重要である。今回の症例では、疼痛コントロールをはじめとして、在宅においても服用を継続できるように介入した事例を経験したので報告する。

2. 実践した具体的内容

【症例】84歳　男性
【主病名】化膿性椎体炎
【アレルギー歴・副作用歴】なし
【入院時服用薬】
〈他院 外科より〉
ラベプラゾールナトリウム錠 10mg分1 朝食後
セレコキシブ錠 400mg分2 朝・夕食後
カモスタットメシル酸塩錠 300mg分3 毎食後
大建中湯エキス顆粒 7.5g分3 毎食前
アセトアミノフェン錠 400mg 疼痛時
〈他院 泌尿器科より〉
ミラベグロン錠 50mg分1 朝食後
シロドシン錠 8mg分2 朝・夕食後
〈他院 内科より〉
ベニジピン塩酸塩錠 4mg分1 朝食後
【経過】
今回の症例は、化膿性脊椎炎にて当院（主診療科：外科、併診：総合内科）へ入院、抗菌薬

続く

67

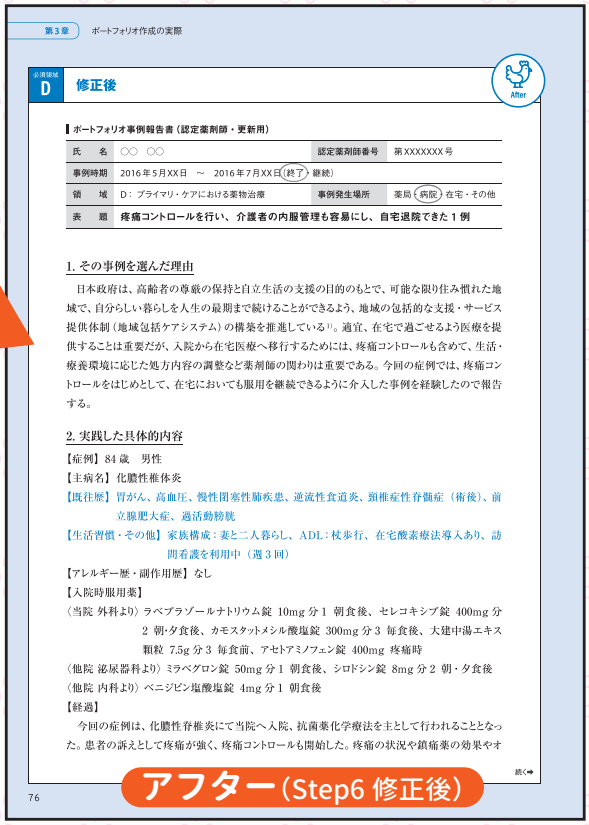
ビフォー（Step2 修正前）

Step 1　プライマリ・ケア連合学会の示す必須領域について、その特徴とポートフォリオ作成時にフォーカスすべきポイントを確認。

Step 2　最初に作成されたポートフォリオ（修正前）を掲載。まずは、この事例報告書を読んで、**自分なりに改善・修正の必要な個所をチェック。**

Step 3　Step2でチェックした修正前ポートフォリオを評価項目ごとに自身で採点し、評価表に点数を入れてみる。

改善・修正（Step3 ～ 5）


第3章　ポートフォリオ作成の実際

必須領域 D　修正後　After

ポートフォリオ事例報告書（認定薬剤師・更新用）

氏　名	○○　○○	認定薬剤師番号	第XXXXXXX号
事例時期	2016年5月XX日　～　2016年7月XX日（終了）継続）		
領　域	D：プライマリ・ケアにおける薬物治療	事例発生場所	薬局（病院）在宅・その他
表　題	疼痛コントロールを行い、介護者の内服管理も容易にし、自宅退院できた１例		

1. その事例を選んだ理由

日本政府は、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進している[1]。適宜、在宅で過ごせるよう医療を提供することは重要だが、入院から在宅医療へ移行するためには、疼痛コントロールも含めて、生活・療養環境に応じた処方内容の調整など薬剤師の関わりは重要である。今回の症例では、疼痛コントロールをはじめとして、在宅においても服用を継続できるように介入した事例を経験したので報告する。

2. 実践した具体的内容

【症例】84歳　男性
【主病名】化膿性椎体炎
【既往歴】胃がん、高血圧、慢性閉塞性肺疾患、逆流性食道炎、頚椎症性脊髄症（術後）、前立腺肥大症、過活動膀胱
【生活習慣・その他】家族構成：妻と二人暮らし、ADL：杖歩行、在宅療養指導入あり、訪問看護を利用中（週３回）
【アレルギー歴・副作用歴】なし
【入院時服用薬】
〈当院 外科より〉ラベプラゾールナトリウム錠 10mg分１ 朝食後、セレコキシブ錠 400mg分２ 朝・夕食後、カモスタットメシル酸塩錠 300mg分３ 毎食後、大建中湯エキス顆粒 7.5g分３ 毎食前、アセトアミノフェン錠 400mg 疼痛時
〈他院 泌尿器科より〉ミラベグロン錠 50mg分１ 朝食後、シロドシン錠 8mg分２ 朝・夕食後
〈他院 内科より〉ベニジピン塩酸塩錠 4mg分１ 朝食後
【経過】
今回の症例は、化膿性脊椎炎にて当院へ入院、抗菌薬化学療法を主として行われることとなった。患者の訴えとして疼痛が強く、疼痛コントロールも開始した。疼痛の状況や鎮痛薬の効果やオ

続く

76

アフター（Step6 修正後）

Step 4　評価者による事例報告書のポイント解説と採点結果、改善すべき項目を示した。**自己評価と比べてみることで着目点などにどのような違いがあるのかわかる。**

Step 5　Step4で示した改善すべき項目に沿って、具体的に2～3点のポイントに絞り、どのように改善すればよいのかをわかりやすく解説。

Step 6　評価者を受け、報告者が修正を加えた最終的なポートフォリオ（修正後）を掲載。**修正した箇所は青字で示しているので、STEP2の修正前と見比べることで改善のコツがつかめる。**

STEP2～5を含む見本PDFや目次などはオンラインショップで確認できます。

【申込書】　　年　　月　　日

ISBN：978-4-8408-1542-0	超簡単!!ポートフォリオ作成ガイド	定価2,750円（本体2,500円＋税10%）	申込冊数　　冊

ご送付先住所 〒	書店様番線印（書店申込）
貴施設・貴社名 / 部署名	
ご担当者名 / お電話番号	

●書店へのご注文は冊数をご記入の上、お近くの書店にお申込み下さい。
●弊社に直接ご注文の場合には必要事項をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。
別途送料（国内１箇所送付につき550円、重量が5kgを超えた場合は850円）を頂戴します。

薬事日報社行きFAX
⇒ 03-3866-8408